

国際ロータリー第2840地区<群馬>2013-2014年度

ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER
to Rotary club presidents and secretaries



群馬県のマスコット
「ぐんまちゃん」
許諾第25-190330号

2013
11



本田ガバナー事務所

〒371-0855 群馬県前橋市問屋町2-2 前橋問屋センター会館1F
TEL:027-212-2840 FAX:027-212-2841
E-mail:honda@rid2840.jp

11月号
Vol.5
2013年11月1日発行

第4分区 A のホープ Our Hope



毎月各クラブの
若手 3 名の笑顔を
掲載しています。

「よしさだ君」



太田 RC 高櫻 紀一



太田 RC 茂木 智行



太田 RC 横山 淳



太田西 RC 相山 美喜江



太田西 RC 中島 史将



太田西 RC 藤井 聡子



太田南 RC 青木 正人



太田南 RC 飯田 真一



太田南 RC 関口 誠一



新田 RC 荻原 丈始



新田 RC 木村 克光



新田 RC 松本 貴之



太田中央 RC 小暮 康之



太田中央 RC 榮井 孝広



太田中央 RC 藤澤 邦俊

「よしさだ君」は太田市のキャラクターです。



「ガバナー月信」10月号目次

表紙	01	地区大会記念ゴルフ大会報告	12
目次、笑顔の会員紹介	02	青少年交換委員会 秋の旅行報告	13
ガバナーメッセージ	03	パストガバナーエッセイ 疋田直前ガバナー	14
ロータリー財団月間に寄せて	04	本田ガバナー・コラム「ロータリーの誤解・正解」第5回	15
2013年規定審議会 詳細レポート第5回	05	地区主要行事一覧および周年行事予定クラブ	19
地区補助金プロジェクト実施完了クラブ報告	07	新会員紹介	21
群馬県ロータリークラブ野球大会報告	08	訃報	22
RLIセミナー Part I 報告	09	文庫通信	23
第3回ガバナー補佐・委員長合同会議報告	10	出席報告	24
第2回ガバナー諮問委員会報告	11	ガバナー月信についてのお願い／編集後記	25

笑顔の会員紹介

氏名	高櫻 紀一	茂木 智行	横山 淳	相山 美喜江	中島 史将
クラブ名	太田	太田	太田	太田西	太田西
会社名	(有)べるバラ	財団法人 群馬トラベルセンター	矢島工業(株)	学校法人瑞穂学園 いなり幼稚園	東武総合広告(株)
職業分類	生花販売	旅行業	自動車部分販売	学校	屋外広告業
氏名	藤井 聡子	青木 正人	飯田 真一	関口 誠一	荻原 丈始
クラブ名	太田西	太田南	太田南	太田南	新田
会社名	(株) GIA	弁護士法人 青木正人 法律事務所	(有)飯田モータース	(株)金井工事	荻原建設(株)
職業分類	サービス業	弁護士	自動車配布	土木	建設業
氏名	木村 克光	松本 貴之	小暮 康之	榮井 孝広	藤澤 邦俊
クラブ名	新田	新田	太田中央	太田中央	太田中央
会社名	(株)サカニワ工業	読売センター新太田(株)	(株)コグレ	蓮沼工業(株)	城西眼科
職業分類	金属機械製造	新聞販売	解体業	設備業	眼科医



ガバナーメッセージ

地区大会はありがとうございました。
公式訪問が続いています。
そして、11月は「ロータリー財団月間」です。

2013-14年度
ガバナー 本田 博己

会長・幹事の皆さんこんにちは!!

地区大会には、大勢のロータリアンとロータリーファミリーの皆様にご参加いただき、まことにありがとうございました。地区大会は、私たちロータリアンが、ロータリアンであることを仲間とともに祝福するためにあります。これまでになかった地区大会を目指しましたが、楽しんでいただけたでしょうか。本大会が、私たちの Fellowship を一層深め、私たちの「希望」を確認する機会となったとしたら望外の喜びです。

さて、11月は「ロータリー財団月間」です。「ロータリー財団」の意義については、ロータリー財団委員長の牛久保パストガバナーの寄稿記事をご覧ください。

本年度より実施されている「未来の夢計画」のポイントは2点です。一つは、年度を超えた連携が必要であること。特に地区補助金申請事業は、計画年度と実施年度（の2年度）のクラブ指導者の合意・意思疎通が欠かせません。二つめは、奉仕プロジェクトの委員会を中心とする「未来の夢計画」をクラブ全体で取り組む体制が必要であることです。

先日の地区大会で決議された「2013-2016年地区戦略計画」では、「未来の夢計画」として、(1) 地区内全クラブが地区補助金対象事業を申請する。(2) 毎年3クラブ以上がグローバル補助金を申請する。「寄付目標」として、(1) ロータリー財団年次寄付 一人当たり150ドル以上。(2) ポリオプラス寄付 一人当たり毎年20ドル以上。という目標を掲げています。クラブを元気にする活動に、「未来の夢計画」の資金を大いに活用していただきたいと存じます。

ところで、ガバナー公式訪問が続いています。9月にスタートして、これまで29クラブを担当のガバナー補佐とともに回りました。各クラブで大歓迎していただき、また会員の皆様との貴重な意見交換の時間をいただきまことにありがとうございます。直接にお話をうかがうことで学ぶことが多く、日々、「発見」と感動の連続です。皆様からいただいた各クラブの情報や知恵を地区内で共有することが大切だと感じています。公式訪問は12月まで続きますが、どうぞよろしく願いいたします。



ロータリー財団月刊に寄せて

ロータリー財団月間に当たって

ロータリー財団委員長
パストガバナー 牛久保 哲男

ロータリー財団月間について国際ロータリーでは以下のように述べております

ロータリー財団月間 (The Rotary Foundation Month)

RI理事会と、管理委員会は、毎年11月はこの月間を遵守すること、月間中、クラブは少なくとも1つのクラブ・プログラムを財団のために実施することを決定しました。

月間中は、ロータリー財団補助金受領者その他（例えばロータリー財団国際親善奨学生など）が、クラブ例会や教育機関や地域社会の会合で、ロータリー財団について講演するよう、示唆されています。財団の奨学金事業、および人道的諸事業についての知識と理解を深め、財団の推進に役立つプログラムを実施してください。

このようにロータリー財団月間については各クラブが自主的に財団に関するプログラムの実施を要望しております。本年度は「未来の夢計画」への移行した初年度であり、各クラブでは昨年計画したプロジェクトに基づき実施を行っているものと思います。

地区としても今月は大変重要な月間になっております。すでにクラブ会長、財団委員長、奉仕プロジェクト委員会に対して11月16日のロータリー財団セミナーの開催についての通知を配布しております。このセミナーは次年度（2014-15）の計画立案についての勉強会でもあり、13-14年度の反省を含めての新たな取り組みを計画するための重要な手続きの説明会です。是非とも46クラブの出席を要望いたします。

財団は寄付によって始めてプロジェクトの実施ができるものです。年次寄付、恒久基金寄付、使途指定寄付等の寄付金額によって3年後の補助金総額が決定されます。そしてその「補助金総額の使用法についての決裁」を任されたのが「未来の夢計画」です。

「未来の夢計画」は決裁を任されたと同時にその使用方法についての責任を負っております。私たち地区ロータリー財団委員会は常にその運用についての公平、公正かつ透明性をもって運用せねばならないと考えております。

各クラブにおいてもこのことを十分にご理解の上、計画の立案及び計画実施をされることをお願いし、全46クラブの「未来の夢計画」への参加にチャレンジされ、クラブ活性化につなげることを願っております。



2013年規定審議会 主な立法案採択の経緯 詳細レポート 第5回



2840 地区が提案し採択された立法案

2013年規定審議会代表議員
パスト・ガバナー 曾我 隆一

制定案 13-141

欠陥のある立法案の定義を改正する件

提案者：日本 第2840地区 前橋ロータリークラブ

国際ロータリー細則を次のように改正する。(手続要覧、第196～197ページ)

第7条 立法手続

7.037. 正規の手続きで提出された立法案

7.037. 2 欠陥のある立法案

次の場合、立法案は欠陥があると見なされる。

- (a) 意味の矛盾しているところが二つ以上ある場合。
- (b) 組織規定の関係箇所を全て改正していない場合。
- (c) その採択が法令に反する場合。
- (d) 決議の形式をとっているが、~~(i)~~ 組織規定の文言と精神に抵触する行為もしくは意思表示を必要とする場合、または~~(ii)~~ 理事会もしくは事務総長の裁量の範囲内にある管理運営的措置を要求あるいは要請する場合。
- (e) RI細則またはRI定款に抵触するような方法で標準ロータリー・クラブ定款を改正する場合、またはRI定款に抵触するような方法でRI細則を改正する場合。
- (f) 管理または施行が不可能な場合。

〈提案理由〉

裁量権の範囲を明確に規定しないまま、「理事会もしくは事務総長の裁量の範囲」との文言規定は、基準が明示されてないのに等しい。理事会・事務総長は「裁量の範囲内」という言い方で門前払いにして規定審議会に上程させないのは、クラブや地区の提案意欲をそぐことになりかねない。なお、立法案は一回の審議会に一地区5件以内と決まっているので（RI細則7.030）、この項目の削除によって、立法案がいたずらに増える懸念はない。

〈経緯と解説〉

この制定案13-141は、前橋ロータリークラブから提案され、安藤年度の2011年10月の地区大会にて承認された4件中の一つであり、幸いに334対174で採択された。若干、テクニカルな分野で



もあるので、少々、解説したい。

全世界532名の規定審議会代表議員全員へ必ず、分厚いバインダーが事前（約半年前）に配送され、予め勉強が義務づけられている。それには全立法案が収録されている外に、審議会運営に関するルールマニュアルとファイル最後の部分に「欠陥ある立法案」が参考として綴られている。

RIによれば、2010年の前回規定審議会では、345あった案件のうち26件が、そして今回の規定審議会では（2012.5現在）提出された400案件のうち、およそ60件が管理運営的措置として欠陥のある立法案であるとの説明だった。

私はこの立法案の提案説明者として自らマイクの前に立ち、「欠陥があるとの一言」で葬り去られてしまった、日の目を見ない提案者の無念さを会場の皆さまに訴えたところ、大勢の代表議員から賛同の意思表示が集約されて採択された。その瞬間、つくづくシカゴにきて良かった、と感慨にふけたのである。

もう一本、当2840地区から共同提案（折衷案）し、採択された決議案を紹介しておきたい。

制13-168 ロータリー・リーダーシップ研究会（RLI）を、RI傘下の組織またはRIの常設プログラムとして指定することを検討するよう、RI理事会に要請する件（折衷案）

提案者：世界 38地区より

332対181にて採択

〈解説〉

R2004年の規定審議会に、RLIをRIの試験的プログラムとするよう理事会に要請する決議が採択されたが、理事会はこの決議を実施することを否決したことがある。

もともとRLIは1992年にロータリークラブのリーダーシップ強化とクラブリーダーとなる見込みのある会員の研修と意欲喚起を目的として草の根（グラスルーツ）の運動として創設されたものである。

2004年以降、着実に世界規模で拡大し、日本においても、南園元RI理事、黒田元RI理事、北RI理事を中心に各地区へ浸透してきている。

当2840地区でも今年が3年目のRLI開催となり、ディスカッション・リーダーの養成とレベルアップを図っている。参加者としては、クラブの会長エレクト、次年度幹事を対象として、PETSの補完機能として高い評価を得ている。



地区補助金プロジェクト実施完了クラブ報告一覧表

地区補助金実施年度にあたり、プロジェクトが完了し、報告書を提出されたクラブを下記の通りご報告致します。

2013年10月30現在

NO.	クラブ	事業名	報告書提出日
1	伊勢崎	岩手県九戸郡野田村への「ソーラー式街路灯」の寄贈	2013.9.30
2	太田	太田市立太田商業高等学校支援事業	2013.9.25
3	前橋東	子供とふれあい 思い出作り	2013.9.27
4	富岡かぶら	東日本大震災復興支援トンボ制作	2013.9.18
5	高崎	高崎市全公立中学校への支援事業（自転車の寄贈）	2013.9.13
6	前橋南	子供ミュージカル公演に養護施設の子供達を招待し支援する事業	2013.10.2

群馬県ロータリークラブ野球大会報告

第 2840 地区前橋大会開催の御礼と試合終了の報告 !!

2020年オリンピックが東京に決定したこの記念すべき日 2013年9月8日、(霧雨の朝、午前5時
もう4~5人の黒子がいた。大丈夫かな~? スポンジで吸いとりゃ大丈夫だよ。人海戦術が始まった・・・
あつというまに10人~15人舞台は整いました) 午前8:30分 2840地区、本田博己ガバナーをお
招きし、始球式により、前橋大会が10チーム・187名のご協力により、かくも盛大に行われましたこ
とを選手、審判員、関係各位の皆様、心より、深く感謝、お礼申し上げます。

今年は、上武大学が日本一、そして、甲子園では、前橋育英高校が、日本一、前橋ガールズ(女
子野球)が、横浜大会で、優勝、関東西濃運輸が、実業団軟式野球で、優勝、そして、前橋大
会で、黒子に徹してくれた、私の所属する、富士見還暦(10月21日)チームメイトよ、我らも、前
橋市長杯 決勝戦、優勝めざして頑張ろう。

30代で野球に、取り付かれた一人のロータリアン、野球小僧より。

第1・2試合 9月8日(日)

第1回戦	桐生RC 対 前橋西RC	伊勢崎RC 対 桐生赤城RC
	前橋RC 対 富岡RC	伊勢崎中央RC 対 前橋東RC
第2回戦	桐生RC 対 前橋北RC	前橋RC 対 伊勢崎RC
	伊勢崎中央RC 対 沼田RC	

準決勝・決勝 10月13日(日)

準決勝	前橋RC 対 伊勢崎中央RC
決勝	桐生RC 対 伊勢崎中央RC (優勝 おめでとう!!)

ロータリアンよ来年もまた野球場で会おう。そして、がんばれ東北!!





RLIセミナー Part I 報告

「RLIセミナー」始まる！

地区副幹事 温井 尚久

平成 25 年 9 月 22 日 (日)、9:30 ~ 17:00 に前橋問屋センター会館にてRLI(ロータリーリーダーシップ研究会) セミナー Part I が実施されました。

松島地区研修委員の司会で開会となり、曾我地区研修リーダーより「今回の研修は知識を得るだけでなく、研修を通じてロータリアンとしての成長とロータリー観を確立してほしい。」とご挨拶いただきました。続いて本田ガバナーよりRLIの理念、目的、セミナーの特徴などをガイダンスいただきました。

次に参加者は各セッション会場へ移動し、いよいよ研修がスタートしました。

セッション1会場では、「リーダーシップの本質をつかむ」、2会場では、「私のロータリー世界」、3会場では、「会員を引き込む - 会員維持」、4会場では、「私たちの財団」、5会場では、「倫理 - 職業奉仕」、6会場では、「奉仕プロジェクト」をテーマにディスカッションリーダーを中心に熱い議論が交わされました。

この研修は会長エレクト、次年度幹事を対象に1~6時限まで実施され、6時限終了時には参加者には達成感と疲労感が入り混じっていました。

そして、閉会式へと移りました。アンケート記入後、今回の研修でRLIセミナー Part I ~ IIIまですべてを履修した5名の方々へ終了バッジが授与されました。また、参加者を代表し、前橋ロータリークラブの都丸会長エレクトへ Part I の修了証が授与されました。

最後にRLI日本支部地区代表委員である横山パストガバナーより、「RLIを機会に真のロータリアンになってほしい。奉仕の実践、ロータリーの勉強、財団への協力をバランスよく行なうことが大切。」とご挨拶いただき、閉会となりました。



「第3回ガバナー補佐・委員長合同会議」開催報告

地区副幹事 長谷 浩克

平成25年9月28日 10:30～12:00 前橋商工会議所会館において、2013-2014年度3回目のガバナー補佐・委員長合同会議が開催されました。

冒頭、本田ガバナーより10月に開催される地区大会への協力依頼等を含め、挨拶がありました。地区大会の関係では、今年度の目玉企画であるロータリークラブにおける感動体験を会員が披露する「ロータリーモメント」の発表の説明などがありました。

続いて、「今後の地区行事について」と題し、以下の行事関係を板垣地区幹事が説明しました。項目及び主な内容は以下のとおりです。

- 指導者育成セミナー

「クラブを元気にしよう」をテーマにした江崎柳節RI会長代理の基調講演や前年度ガバナー表彰クラブよりの活動事例発表等

- RI会長代理歓迎晩餐会

江崎柳節RI会長代理のご来訪を歓迎し、地区役員・クラブ会長・幹事・直前会長などが出席し開催

- 地区大会

今回の地区大会の特徴は以下の項目

- ✓ 「ロータリーモメント」（ロータリー感動体験）の発表
- ✓ 「友愛の広場」において、各委員会の活動発表等を行う

数名の委員長から「友愛の広場」に関する質問や意見などがあり、活発な質疑が行われました。

上記の3行事は、10月26日（土）～27日（日）に、前橋商工会議所会館とベイシア文化ホール（群馬県民会館）で開催されます。

また、各分区や一部複数分区共同で開催予定のIM（インターシティー・ミーティング）について、板垣地区幹事の概要説明に続き、曾我パストガバナー・地区研修委員長よりIMの意義等についてのお話があり、加えて各ガバナー補佐より担当分区の企画状況などが報告されました。

今後もより一層、当2840地区のロータリー活動が充実することが期待されます。



第2回ガバナー諮問委員会報告

収支決算説明と地区大会成功に向けて！

地区幹事 板垣 忍

9月28日土曜日、室内にいるなんてバチ当たりとしか思えないような運動会日和の中、前橋商工会議所会館内にて「本田年度第2回ガバナー諮問委員会」が開催されました。

18名の委員会構成メンバーにしっかりお集まりいただき、下記の内容についてご意見を伺いました。主に諮問いただきました事項は、疋田ガバナー年度及び本田ガバナーエレクト年度の収支決算について、そして本田年度の特徴を生かした“地区大会”成功への様々な視点からのご指導を頂き、充実した内容の濃い委員会となりました。皆様大変有難うございました。

【報告事項】

地区大会について

1. 指導者育成セミナー
2. RI会長代理歓迎晩餐会
3. 地区大会プログラム

IM開催予定について

公式訪問経過報告

竹内年度行事予定について

【諮問事項】

地区大会委員会報告について

地区大会決議（案）について

疋田年度決算について

本田エレクト年度決算について



地区大会記念ゴルフ大会報告

ホストクラブ 前橋中央ロータリークラブ
コホストクラブ 前橋ロータリークラブ

国際ロータリー第 2840 地区・地区大会ゴルフ大会が 2013 年 9 月 29 日（日）サンコー 72 カントリークラブにおいて開催されました。

申込み当初は 31 クラブ、292 名の皆様がエントリーされました。残念ながら、コンペ当日までには、ご都合による不参加等で、31 クラブ 275 名のロータリアンの参加となりましたが、過去最大の参加者のもと、盛大に開催することが出来ました。

また、組数が 76 組と大変多くなったためキャディが足りず、第1分区の皆様にはセルフでのプレーになりましたこと、お詫び申し上げます。

当日は晴天に恵まれ、最高のゴルフ日和となり、多数の方が好スコアを出されたように思います。

さて、ホストクラブである前橋中央ロータリークラブとコホストクラブである前橋ロータリークラブの各委員は、朝 6:30 に集合し綿密な打ち合わせのもと、役割ごとに配置につきました。経験の浅い者も多数おりましたので、受付当初はやや緊張の面持ちでの対応となりましたが、徐々に緊張も解け、参加者ともども笑顔での受付が進んでまいりました。

大きなトラブルも無く、比較的早くに全ての受付も済み、大事を終えたという感が広がりました。

ハーフを終え、ホールアウトしてくる組が出始めてくると、表彰式の時間が気になります。これだけの組数や人数となると、最初にあがってくる組の方が、表彰式開始まで時間を持って余してしまいます。アテストの会場へ参加者を誘導しながら、つつい時間気にしてしまいました。

結果、比較的スムーズに皆様ホールアウトされ、ほぼ予想した時間通り表彰式を始めることが出来ました。成績につきましては、下記の通りです。

今大会におきましても、一人の怪我人も無く、大成功のうちに終了いたしましたのもご参加頂いたロータリアンの皆様、サンコー 72 カントリークラブの皆様のご協力があったからこそと心より感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

<表 彰 結 果>

		グロス		ネット	
●個人戦	優 勝	雨宮 靖男 (伊勢崎東RC)	79.0	70.6	
	準 優 勝	齋藤 勝也 (富岡かぶらRC)	85.0	70.6	
	(女子) ベストグロス賞	菊地 雅子 (桐生中央RC)	97.0	77.8	
●団体戦	優 勝	伊勢崎RC	261.0	215.4	
	準 優 勝	太田南RC	230.0	215.6	



青少年交換委員会 秋の旅行報告

青少年交換委員会 委員長 前原 信之

平成 25 年 9 月 29 日（土）に関根委員を中心に、交換留学生 5 名、ROTEX6 名、青少年交換委員会のメンバー 5 名、合計 16 名で秋の旅行に行ってきました。

この旅行は、海外から来た青少年が、異文化を体験することによって、生涯にわたる国際理解の基となる機会を提供すること、また、指導者としての役割を務めるロータリアンが積極的に関与し、将来の国際親善大使を育てるための一助となることを目的に行われました。

旅行先は、バス移動で長野県にある国宝松本城を 5 重天守閣まで上り見学し、日本の歴史・文化・環境景観に触れてもらいました。参加した留学生のオースティン等は、何度も写真を撮り、城と景色を堪能。松や火縄銃をみて更に日本の文化・伝統・文化を感じていた様子でした。お昼は、信州そばを食べました。留学生達が箸の使い方がとても上手なのには驚きました。アメリカでは日本食も「普通で、よく箸も使っていた。」とのこと。午後は、SUWA ガラスの里でガラスの印を作りました。各々でデザインをしましたので、帰国後の大切な土産となり、これを「銀行印にする」と言っていた留学生もいました。

この旅行の最後に、バスの中で留学生一人ひとりとカウンセリングを行いました。来日して約 1 か月半となりますので、留学生の悩みを聞いたり、逆にホストファミリーからの悩みを留学生に伝え、生活習慣の改善を提案できたことは、彼らの留学生生活を充実する一助となると思います。長旅でしたが、実りの多い旅行となりました。参加された方々、本当にお疲れ様でした。





パストガバナー エッセイ

東京オリンピックに寄せて

直前ガバナー 疋田 博之
(2012-2013 年度ガバナー)

今から7年後に東京でオリンピック大会、パラリンピック大会が開催されることが決まり、明るい話題として取り上げられています。自分を含め、ある年齢以上の人は「その頃は？」と考えたりしているのではないかと思います。

自分にとっては、昭和39年10月10日 国立競技場で坂井選手が聖火台を駆け上がって聖火をつけた瞬間、テレビを見ていて非常に感激したことが思い出されます。医学部5年生で臨床実習をやっている頃で患者さんと一喜一憂したことも思い出となっています。病人にとって選手の活躍が良い薬になっていたのかもしれない。

自分はオリンピックが開催される約1年前にバレーボール大会の開催される東京体育館の入場券を購入する為に豊島園にあったチケット販売所に徹夜して並んだものです。クラブの仲間数人でそれぞれ2枚ずつ購入でき、2回戦観に行きました。残念ながら優勝した女子の東洋の魔女は見る事が出来ませんでした。青春時代の思い出として脳裏に残っています。男子は、松平監督のもと銅メダルを獲得しています。今でも伝説的なマラソン2連覇アベベ選手、体操のチャラフスカ選手も活躍した大会でした。

小学校時代の担任の先生の影響？で、バレーボールを楽しみ、中学、高校時代にも部活で遊びに毛の生えた程度でしたが軽井沢の合宿などにも参加して、今でもOB会の連絡をもらって昔の仲間と会えるのを楽しみにしています。大学に入ると学部だけのクラブがあり、6年間しっかりと楽しんで東日本大会で青森、岩手、千葉などへ行き楽しんでいました。桐生に帰ってからも看護学校の夜の練習に参加してコーチのお手伝いをしたこともありました。

7年後の東京オリンピックは、54年ぶりということになりますが、ハイテクを使い科学的に肉体をつくり上げた選手の活躍、違った意味で大いに盛り上がることと思いますが、東京お台場を中心に街並みが一変してしまうのではないかと思います。「新しいことは良い事だ！」と言って次々に建て替えることは良いことであるのか、今の時代古いものを大事に残すという事も考えないといけないのではと心配したりして7年後を楽しみに待ったりしている自分がいます。

この世の中「一寸先は闇」という事を心に命じて今まで大病しなかった事に感謝しながら少々マイペースでゆったりと生きていこうと考えています。

ガバナー・コラム **ロータリーの誤解・正解** シリーズ〈第5回〉

第5回 「職業奉仕」はロータリーの根幹か？

ガバナー 本田 博己

少し刺激的なタイトルでしょうか。これまでの連載で、ロータリーの「目的」や「奉仕の理念」、「五大奉仕部門」について従来の解釈や解説とは異なる切り口や主張を述べてきたかも知れませんが、今回は、日本のロータリアンが特に大切と考えている「職業奉仕」をとり上げます。

今回だけ読めば、私の言説が奇矯に聞こえるかも知れません。顰蹙覚悟で申し上げますが、これまでの連載を丁寧に再読していただければ、私の真意はご理解いただけると存じます。と、あらかじめ釈明した上で、さあ始めましょう。

私が「職業奉仕」“Vocational Service”という言葉で、欧米のロータリアンと日本のロータリアンが全く異なる内容を語っていることをはっきり認識したのは、2012年バンコク国際大会の分科会でのことでした。「職業奉仕」は英語だけの分科会でしたので、私がどこまで理解できたかは自信がないのですが、日本のロータリアンは、私たちにお馴染みの「職業奉仕」の理念を熱心に語り、一方、欧米のロータリアンは、「職業奉仕部門」の活動事例を語り、両者は噛み合わないままに分科会は終わったのです。「同床異夢」という言葉が頭をよぎりました。

前回、「標準ロータリークラブ定款」の第5条に記述された「五大奉仕部門」の各部門は、「個々のロータリークラブの活動のための枠組み」であり、ロータリークラブ会員が各奉仕部門で行うべき行動・活動が示されていると分析しました。

第一部門の「クラブ奉仕」は「行動」“action”、第三部門の「社会奉仕」は「取り組み」“efforts”、第四部門の「国際奉仕」は「クラブの活動やプロジェクト」“club activities and projects”、第五部門の「青少年奉仕」は「活動」「プロジェクト」「プログラム」“activities” “ projects” “programs” などという言葉で、具体的に会員やクラブの行動を求めています。

ところが、第二部門の「職業奉仕」は、記述が他の部門とは明らかに異質なのです。「奉仕の第二部門である職業奉仕は、事業および専門職務の道徳的水準を高め、品位ある業務はすべて尊重されるべきであるという認識を深め、あらゆる職業に携わる中で奉仕の理想を生かしていくという目的を持つものである。会員の役割には、ロータリーの理念に従って自分自身を律し、事業を行うことが含まれる。」（標準ロータリークラブ定款 第5条 五大奉仕部門 第2節）

私は、かつて「四大奉仕」の中でも「職業奉仕」は、具体的な奉仕活動を伴う他の奉仕部門とは違い、奉仕の理念の職業への適用を謳った「ロータリーの目的」の第2項目に通ずる、他の奉仕部門の上位概念のようなものではないかと思っていました。「四大奉仕」の一部門に収まっていることがおかしいと。しかし、どうやら日本以外（？）の世界のロータリーでは、当然のように「職業奉仕」を他の



奉仕と並ぶ、一つの奉仕部門（an Avenue of Service）として位置付けているようです。

例えば、2005 年ごろから推奨されているクラブ・リーダーシップ・プラン（CLP）では、「職業奉仕委員会」は「奉仕プロジェクト」の1小委員会として、「社会奉仕」「国際奉仕」「青少年奉仕」の各委員会と並んで配置されています。このことに違和感を覚えた日本のロータリアンは多かつたはずです。

3 年前から始まった 2840 地区のロータリー・リーダーシップ研究会（RLI）セミナーの最新テキスト（20 周年記念版に準拠）の「職業奉仕」のセッション（パートⅢ）には、「職業奉仕のアイデア」と題する資料が付いています。

そこには、奉仕プロジェクトの1部門としての「職業奉仕」のクラブや会員が行う活動の様々なアイデアが並んでいます。1. 職場における高い倫理基準を促進する。2. 職業分類の原則。3. 高い倫理基準へのロータリーの公約を推進する。4. 有益な職業の価値を認識し推進する。5. あなたの職業におけるボランティア活動をする。

この大項目だけではどんな活動内容かわかりにくいでしょうから、「4. 有益な職業の価値を認識し推進する」の小項目を以下に例示します。

4. 有益な職業の価値を認識し推進する

- a. あなたのクラブのプログラムとして、職業分類の話や職場訪問を行う
- b. あなたの職業に関連するロータリー親睦活動に参加したり、新しく組織したりする
- c. ロータリアンが若者の就職を助けるキャリア・デイを後援する
- d. 専門技能の開発を支援する
- e. 事業上の連携における指導的役割を会員が取るように奨励する
- f. 小規模な起業家のためのセミナーを後援する
- g. 会員が地域の専門職の人と出会い、彼らをロータリーに導く、専門職業人のための非公式なネットワーク・イベントを開催する
- h. あ失業あるいは、不完全雇用の成人に求人市場で競う必要のある技能を持たせるための 職業相談 プログラムを始める

いかがでしょうか。こんなものは職業奉仕ではない！という日本ロータリアンの声が聞こえてきそうです。しかし、世界のロータリーでは、自分の職業上のスキルを生かした奉仕活動は、個人が行うものであれ、クラブが行うものであれ、すべて立派な「職業奉仕」の活動として活発に実践されているのです。

もう一つ、『手続要覧』に載っている「職業奉仕月間」の解説をご覧ください。（『2010 年手続要覧』111 ページ）



職業奉仕月間 (Vocational Service Month)

職業奉仕の理想を日常的に実践するようクラブの参加を強調するため、毎年10月は「職業奉仕月間」と定められている。職業奉仕月間中に推奨されるクラブ活動には、地区レベルの行事でロータリー・ボランティアを表彰すること、ロータリー親睦活動への参加を推進すること、職業奉仕活動またはプロジェクトを提唱すること、および空席の職業分類に会員を入会させる会員増強活動などがある（ロータリー章典 8.030.3.）。

「職業奉仕」という言葉で、世界のロータリアンは、奉仕部門の一つとしての職業奉仕の活動を語り、日本のロータリアンは、「奉仕の理念」の職業への適用やロータリアンとしての職業観を語る。このズレが、大げさに言うと世界のロータリー運動の中で、日本ロータリーの「ガラパゴス化」を招いている一因のように思えます。

先月の『ロータリーの友』（10月号）は「職業奉仕」の特集号でした。冒頭のロン D. バートン RI 会長のメッセージは「職業奉仕を考える」という題で、続いて「職業奉仕 — ロータリーの神髄」と題する特集が組まれています。その特集では、「私が考える職業奉仕」というテーマで19人のロータリアンの投稿が載っています。それぞれの方のロータリー観や職業観はそれぞれに素晴らしいと思いますが、日本でしか見られない「職業奉仕」論であることも確かです。

『ロータリーの友』は日本で発行される地域雑誌ですが、RIの機関雑誌である「ザ・ロータリアン」誌10月号を見ると、「職業奉仕」についての扱いは素っ気ないものです。ロン D. バートン RI 会長のメッセージの題は、目次に「Using our jobs to serve」とあり、本文も奉仕の第二部門（second Avenue of Service）としての「職業奉仕」の意義を語っています。他に「職業奉仕」に触れる記事はなく、「職業奉仕月間」に言及しているのは、（10月のカレンダーを除けば）バートン会長のメッセージだけでした。

『ロータリーの友』10月号の会長メッセージ「職業奉仕を考える」という題や特集の副題「ロータリーの神髄」、そして特集そのものも、日本のロータリアン向けに、日本で独自に執筆・編集されたものなのです。

面白いのは、『ロータリーの友』の「職業奉仕月間」の特集記事の最後に1ページだけ、申し訳のようにクラブの職業奉仕活動事例が載っています。我々が2840地区、太田ロータリークラブの「商業高校で出前授業」という記事です。19人のロータリアンが思い思いに語る日本独自の「職業奉仕」論の後に、世界標準（？）の「職業奉仕部門」活動事例が載っている！日本における「職業奉仕」論議のガラパゴス化と世界標準との「矛盾？」が現れた誌面のように思うのは私だけでしょうか。

日本のロータリアンと世界のロータリアンが語る「職業奉仕」が違うことを認識している方は多いかも知れません。ただ、その違いを、日本の「職業奉仕」理解の方が正しいとしたり、「職業奉仕」は他の奉仕部門とは違うとして、クラブの「職業奉仕」の実践を否定したりする態度は、間違っていると思います。



私の提案は、「職業奉仕」という言葉で「奉仕の理念」（の職業への適用）や自分の職業観を語ることをいったん止めてみたら、ということです。そして、クラブの活動のための枠組みである「五大奉仕部門」“Five Avenues of Service”の第二部門（second Avenue）である「職業奉仕部門」の活動だけに「職業奉仕」という言葉を使ってみたら、という提案です。

「職業奉仕」“Vocational Service”という言葉がロータリーで使われるようになったのは、1927年、ベルギーのオステンド国際大会で「目標設定計画」（The Aims and Objects Plan）が採択され、「四大奉仕部門」がクラブの管理運営の基本的枠組みとなったときからというのは、前回解説した通りです。「職業奉仕」という言葉を知らなかった（？）アーサー・F・シェルドンの「Serviceの哲学」を「職業奉仕」で語ったり、「Vocational Service」という言葉から天職論や職業倫理を語ったりする議論は、もともと無理があるのではないのでしょうか。

これまでの日本の伝統的な「職業奉仕」論が間違っていると言っているのではありません。むしろ、日本のロータリアンの「奉仕の理念」に対する深い思索が、ロータリーの世界標準になればよいのに、とさえ思っています。

「職業奉仕」ではなく、「奉仕の理念（奉仕の理想）」“The Ideal of Service”という言葉で、ロータリーの理念についての議論を深めてゆこう、というのが私の提案の真意です。なぜなら、「ロータリーの目的」は、「意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むこと」であり、「奉仕の理念」がロータリーの根幹であるからです。

私は、この「奉仕の理念」をロータリーの根幹として議論を深めることを、戯れに“ロータリーの大統一理論”と呼んでいます。日本と世界のロータリーが真に共通認識をもって、「同床異夢」ではなく、共通の「希望」を語るができる日が来ることを願っています。

心ある日本のロータリアンの皆様がこれまで培ってきた「職業奉仕」論を、「職業奉仕」という言葉ではなく、「奉仕の理念」という言葉で深めてゆくことが、日本ロータリーの世界標準化への近道であり、日本がロータリー世界に一層貢献する道であると信じています。

（「奉仕の理念」に関する議論は、このシリーズの第2回、第3回をご一読ください。）



2013-2014年度 地区主要行事一覧 (年度前・上期)

	開催日	項 目	場 所
2012年	10月26日(金)27日(土)	第1回ガバナー補佐会議	ヘルシーパル赤城
	11月11日(日)	疋田年度 R財団補助金・管理セミナー	伊勢崎プリオパレス
	11月29日(木)30日(金)	ガバナーエレクト&次期米山奨学委員長合同セミナー	メルパルク東京
	12月 1日(土)	第1回ガバナー補佐・委員長予定者合同会議・研修委員会	前橋問屋センター会館
2013年	1月 5日(土)	第3回ガバナー諮問委員会・GE壮行会(疋田事務所主催)	桐生市市民文化会館
	1月13日~19日	国際協議会(ガバナー・エレクト)	サンディエゴ
	2月 2日(土)	第4回ガバナー諮問委員会(GE報告)(疋田事務所主催)	桐生倶楽部
	2月10日(日)	地区チーム研修セミナー	前橋商工会議所
	3月16日(土)	会長エレクト・次年度幹事研修セミナー (PETS・SETS)	伊香保 福一
	3月17日(日)	会長エレクト・次年度幹事研修セミナー (PETS・SETS)	伊香保 福一
	3月19日(火)	全国会員増強セミナー	ハイアットリージェンシー
	4月 6日(土)	ロータリー財団委員会 合同会議	伊勢崎プリオパレス
	4月14日(日)	第2回ガバナー補佐・委員長予定者合同会議・研修委員会	前橋問屋センター会館
	4月21日(日)~26日(金)	規定審議会	シカゴ
	5月12日(日)	国際ロータリー第2840地区協議会	前橋商工会議所
	5月17日(金)18日(土)	ロータリー世界平和フォーラム広島	広島国際会議場
	5月26日(日)	11:00第2回ガバナー補佐会議 13:00地区会員増強セミナー	前橋問屋センター会館
	6月15日(土)	第5回ガバナー諮問委員会(疋田事務所主催)	桐生
	6月15日(土)	新旧地区役員連絡会議(疋田事務所主催)	桐生
	6月16日(日)	RAC地区協議会	群馬県昭和田舎
	6月23日~26日	国際大会(本田ガバナーエレクト出席)	リスボン
	6月30日(日)	ロータリー財団地域セミナー	グランドプリンスホテル高輪
	7月 1日(月)	ガバナー・元・次期ガバナー懇談会	グランドプリンスホテル高輪
	7月 6日(土)	インターアクト合同会議	高崎商科大学
	7月 6日(土)	第1回補助金委員会	伊勢崎プリオパレス
	7月13日(土)	第1回ガバナー諮問委員会	音羽の森 音羽倶楽部
	7月14日(日)	青少年交換委員会(夏期交換学生壮行会・歓迎会)	前橋問屋センター会館
	7月21日(日)	RLIディスカッションリーダー研修会 Part I	前橋問屋センター会館
	7月27日(土)	インターアクト年次大会	高崎商科大学
	8月 3日(土)	10:00 地区ロータリー財団セミナー	伊勢崎プリオパレス
	8月 8日(木)	管理運営セミナー	前橋問屋センター会館
	8月10日(土)	RLIディスカッションリーダー研修会 Part II	前橋問屋センター会館
	8月11日(日)	青少年交換委員会(一年交換学生壮行会)	前橋問屋センター会館
	8月22日(木)	米山指定校説明会	前橋問屋センター会館
	8月31日(土)	青少年交換委員会(帰朝報告会)	前橋商工会議所
	9月14日(土)	地区米山奨学研修セミナー	前橋問屋センター会館
	9月22日(日)	RLIパート I	前橋商工会議所
	9月28日(土)	10:30 第3回 ガバナー補佐・委員長合同会議	前橋商工会議所
	9月28日(土)	13:30 第2回ガバナー諮問委員会	前橋問屋センター会館
	9月29日(日)	地区大会記念ゴルフ大会	サンコー72カントリークラブ
	10月 5日(土)	青少年交換委員会	
	10月19日(土)	青少年交換委員会	
	10月26日(土)	地区指導者育成セミナー	前橋商工会議所
	10月26日(土)	RI会長代理歓迎晩餐会	前橋商工会議所
	10月27日(日)	地区大会	ベシア文化ホール(群馬県民会館)
	11月3日(日)・4日(月)	RYLA研修会	館林
	11月 9日(土)	青少年交換学生選考会	前橋問屋センター会館
	11月10日(日)	RLIパート II	前橋問屋センター会館
	11月16日(土)	10:00 補助金管理セミナー	伊勢崎プリオパレス



2013年	12月 1日(日)	ロータリー財団地域セミナー(ゾーンセミナー)	東京 グランパシフィック La DAIBA
	12月 2日(月)	ガバナー会(GETS)	東京 グランパシフィック La DAIBA
	12月3日(火)4日(水)	ロータリー研究会	東京 グランパシフィック La DAIBA
	12月 7日(土)	米山学友会忘年会	前橋商工会議所
	12月 7日(土)	青少年交換委員会	
	12月 8日(日)	RLIパートIII	前橋問屋センター会館
	12月 日(日)	茶の湯研修会	
	12月23日(月)	青少年交換学生クリスマス会	前橋商工会議所

2013-2014年度 地区主要行事一覧 (下期)

2014年	1月 6日(月)	16:00 第3回ガバナー諮問委員会 18:00 GE壮行会	ラ・フォンテーヌ
	1月18日(土)	10:00 第1回地区補助金審査会	伊勢崎プリオパレス
	1月26日(日)	米山記念奨学生選考会	前橋問屋センター会館
	2月 1日(土)	第4回ガバナー諮問委員会(GE報告)・規定審議会補欠議員選出	前橋問屋センター会館
	2月15日(土)	米山奨学生修了式・奨学生歓送会	前橋商工会議所
	2月23日(日)	新会員セミナー(RLI方式 1日コース)	前橋問屋センター会館
	3月20日(木)~23日(日)	インターアクト国際交流事業	台湾
	4月26日(土)	10:00 地区補助金最終審査会	伊勢崎プリオパレス
	4月25日(金)~26日(土)	インターアクト国際交流事業(受け入れ)	高崎商科大学
	4月27日(日)	新規米山奨学生カウンセラーセミナー	前橋問屋センター会館
	4月27日(日)	新規米山奨学生カウンセラー・米山奨学生オリエンテーション	前橋問屋センター会館
	5月25日(日)	16:00 第5回ガバナー諮問委員会	群馬県庁
	5月25日(日)	18:00 新旧地区役員連絡会議	群馬県庁
	6月1日(日)~4日(水)	国際大会	シドニー
	6月15日(日)	米山記念奨学生学友会総会	前橋商工会議所
	8月	会計監査報告	

2013-2014年度 周年行事予定クラブ

クラブ名	周年	予 定 日	開 催 場 所
前橋中央	20	2014年3月 1日(土)	前橋商工会議所
富岡中央	20	2014年3月 8日(土)	ホテルアミューズ富岡
高崎	60	2014年3月24日(月)	高崎ビューホテル
伊勢崎	60	2014年4月 5日(土)	伊勢崎プリオパレス
前橋	60	2014年4月12日(土)	前橋商工会議所
館林東	30	2014年4月20日(日)	レストラン ジョイハウス
渋川みどり	20	2014年4月29日(火)	アネーリ渋川
高崎セトル	15	2014年4月	高崎ビューホテル
前橋西	50	2014年5月10日(土)	前橋中央パソ広場(式典)・前橋パソ(記念事業)
伊勢崎東	20	2014年6月	伊勢崎プリオパレス
藤岡	50	2014年5月17日(土)	藤岡市みかぼみらい館



新会員紹介



新会員名 横山 勝則
 クラブ 桐生
 入会日 2013年9月30日
 職業分類 銀行
 勤務先 群馬銀行桐生支店
 役職 執行役員 支店長
 推薦者 養田 隆



新会員名 関口 正巳
 クラブ 桐生中央
 入会日 2013年9月26日
 職業分類 自動車部品製造販売
 勤務先 エムエス化成株式会社
 役職 代表取締役
 推薦者 水澤 亨司・毒島 一夫



新会員名 鈴木 裕美子
 クラブ 桐生中央
 入会日 2013年9月26日
 職業分類 化粧品販売
 勤務先 ティアトータルビューティーサロン
 役職 代表
 推薦者 遠藤二三男・毒島一夫



新会員名 大澤 照義
 クラブ 高崎東
 入会日 2013年10月3日
 職業分類 自動車部品製造
 勤務先 株式会社 オオサワ
 役職 代表取締役
 推薦者 高橋 永一



新会員名 竹之内 光昭
 クラブ 沼田中央
 入会日 2013年10月10日
 職業分類 農業
 勤務先 (株)サイエンズ
 役職 代表取締役
 推薦者 茂木 清七



新会員名 針谷 芳太郎
 クラブ 藤岡
 入会日 2013年9月26日
 職業分類 不動産業
 勤務先 (株)新星
 役職 代表取締役
 推薦者 黒澤 欣一



新会員を

O・MO・TE・NA・SHI



訃報 心より哀悼の意を表します。

江原 毅 会員

- ・事業所名：上毛倉庫(株)
- ・入会日：1982年7月20日
- ・逝去日：2013年9月30日(享年71歳)
- ・ロータリー歴
1992 - 93年 前橋ロータリークラブ幹事
2003 - 04年 前橋ロータリークラブ会長
- ・表彰
ロータリー財団 マルチプルフェロー…2回
米山記念奨学会 米山功労者……………6回



敬愛する大先輩、江原毅様のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

江原様は前橋ロータリークラブに昭和57年に入会以来30年の間、ロータリアンとは如何にあるべきかを私たちに示してこられました。

そして2003年～2004年には第51代会長を務められ、創立50周年の記念事業では、卓越したリーダーシップですべての行事を成功に導きました。「更なるスタート50年、果たそう奉仕と友情を」のスローガンのもと、記念式典が盛大に行われ、活気あふれる周年行事となったことを、昨日のように覚えています。また21世紀特別委員会を新設し、「歴史と伝統」を超えてのクラブ改革を提言されました。その提言を礎にして、前橋ロータリークラブは60周年を迎えることができます。

故江原毅様に深く感謝申し上げます。私達は前橋ロータリーの闊達な気風を継承しつつ、良き伝統を大切に歩んでいきます。

合掌

前橋ロータリークラブ会長 平方 宏

三浦 愛司 会員

- ・事業所名：ダイシン機械(有) 会長
- ・入会日：1981年8月
- ・逝去日：2013年9月18日(享年89歳)
- ・ロータリー歴
館林西ロータリークラブ
- ・表彰
米山功労者……………4回
ポールハリスフェロー…1回



館林西クラブの大重鎮ご逝去

三浦愛司様は、8月下旬の合同例会に出席され、お元気に歓談しておられましたのに、9月に入り体調を崩され、急にご他界されました。

当クラブ創設のチャーターメンバーの中軸として、更に第四分区代理や、社会奉仕大委員長、米山奨学委員長など地区役員を歴任され、多大な功績を残された、名実ともに当クラブ最高の功労者である大先輩を失い、限りなく深い悲しみに包まれております。

ご生前のご遺徳をしのび、これからも天の上より私共を見守って下さるようお願い致し、安らかなご冥福をお祈り申し上げます。

合掌

館林西ロータリークラブ会長 土屋 孝夫



文庫通信 (314号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

地区大会講演より

- ◎ 「ロータリーにおける不易流行とは (パネルディスカッション)」
 沢島武徳 (コーディネーター) 2013 10p (D.2630 地区大会記録誌)
- ◎ 「それこそロータリー」 関場慶博 [2013] 14p (D.2530 地区大会記念誌)
- ◎ 「新世代に伝えるべきこと(トークセッション)」 新浪剛史 他 2013 5p (D.2720 地区大会記録)
- ◎ 「新世代の育成に情熱を!!」 岡村泰岳 2013 4p (D.2740 地区大会記録)
- ◎ 「善き仲間と共に」 中村靖治 2013 6p (D.2720 地区大会記録)
- ◎ 「これからのロータリー～新世代育成の現状と展望 (シンポジウム)」
 茂木正光 (コーディネーター) 2013 5p (D.2580 地区大会の記録)
- ◎ 「職業奉仕の理念と実践」 黒田正宏 [2013] 3p (D.2730 地区大会記録誌)
- ◎ 「職業奉仕の基本理念」 深川純一 [2013] 4p (D.2730 地区大会記録誌)
- ◎ 「シェルドンから学ぶ」 田中毅 [2013] 3p (D.2730 地区大会記録誌)
- ◎ 「時代を先駆けたシェルドン職業奉仕の実践」 小船井修一 [2013] 4p
 (D.2730 地区大会記録誌)

[上記申込先：ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階

TEL (03) 3433-6456・FAX (03) 3459-7506

http://www.rotary-bunko.gr.jp

開館=午前10時～午後5時 休館=土・日・祝祭日



第2840地区 9月出席報告

クラブ数	会員数					
	年度初	月初	月末	純増減会員数	女性会員	当月出席率
46	1,875	1,900	1,907	7	81	84.89

クラブ名	例会数	出席率 (%)	会員数					
			年度初	月初	月末	増減	女性	
第1分区分区	前橋	4	85.77	111	111	110	-1	6
	前橋西	4	85.95	52	52	52	0	4
	前橋東	4	86.42	65	65	65	0	4
	前橋北	3	88.41	64	69	70	1	5
	前橋南	4	99.22	32	32	32	0	0
	前橋中央	4	81.03	33	31	31	0	6
	合計		87.80	357	360	360	0	25
第2分区分区A	桐生	3	88.11	61	61	62	1	0
	桐生南	5	83.70	23	23	23	0	0
	桐生西	4	90.90	53	53	52	-1	1
	桐生中央	3	78.31	24	24	26	2	4
	桐生赤城	4	92.21	42	42	42	0	5
	合計		86.65	203	203	205	2	10
	第2分区分区B	伊勢崎	4	92.14	72	74	74	0
群馬境		4	89.06	29	29	29	0	1
伊勢崎中央		4	88.93	64	64	64	0	0
伊勢崎南		3	80.95	21	21	21	0	1
伊勢崎東		2	90.00	30	30	30	0	2
合計			88.22	216	218	218	0	4
第3分区分区		高崎	3	86.56	61	61	62	1
	高崎南	4	74.19	62	62	62	0	5
	高崎北	4	72.03	63	70	70	0	0
	高崎東	4	84.12	37	38	38	0	1
	高崎ソフオー	4	84.87	36	37	38	1	4
	高崎セントラル	4	75.00	34	36	36	0	0
	合計		79.46	293	304	306	2	10

クラブ名	例会数	出席率 (%)	会員数					
			年度初	月初	月末	増減	女性	
第4分区分区A	太田	4	91.54	69	68	68	0	3
	太田西	4	88.07	15	17	18	1	2
	太田南	4	85.40	38	38	38	0	0
	新田	4	82.14	23	21	21	0	0
	太田中央	4	87.50	44	44	44	0	2
	合計		86.93	189	188	189	1	5
	第4分区分区B	館林	4	86.11	44	45	45	0
大泉		4	80.48	25	28	28	0	2
館林西		4	84.20	20	20	19	-1	0
館林東		4	84.37	25	26	26	0	2
館林シニア		4	88.31	25	25	25	0	0
合計			84.65	139	144	143	-1	4
第5分区分区		渋川	3	97.42	54	56	56	0
	沼田	4	70.00	60	61	61	0	1
	草津	4	78.76	16	16	16	0	1
	中之条	4	94.00	23	23	23	0	1
	沼田中央	4	83.32	51	53	53	0	1
	渋川みどり	4	87.50	40	40	40	0	2
	合計		85.17	244	249	249	0	10
第6分区分区	富岡	4	95.82	48	48	48	0	4
	藤岡	4	82.66	43	42	44	2	1
	安中	4	78.57	28	28	28	0	0
	藤岡北	4	84.89	14	16	16	0	2
	富岡中央	4	85.35	42	41	41	0	1
	碓氷安中	4	73.22	14	14	14	0	2
	藤岡南	4	77.47	17	17	18	1	1
合計		82.25	234	234	237	3	11	



ガバナー月信についてのお願い

- ガバナー月信の配信は、毎月1日です。
また、2840 地区ホームページ <http://www.rid2840.jp> でも閲覧可能です。
 - 出席報告の締切りは、毎月14日です。
出席報告は地区ホームページのトップページより入力してください。
なお、IDとパスワードは各事務所で御承知と思いますが、不明なクラブは本田ガバナー事務所までお問い合わせください。
 - 原稿の締切りは、毎月15日です。ワードまたはエクセル書式で作成の上、メール添付し、本田ガバナー事務所 honda@rid2840.jp まで送信してください。
なお、写真等の画像がある場合は、デジタルデータでお送りください。
 - 新会員情報並びに訃報の締切りは、毎月15日です。
(15日以降のご連絡分につきましては、次月号の掲載となります。)
新会員につきましては氏名、入会日、職業分類、勤務先、役職、推薦者氏名を記入の上、写真を添えて、メールにて本田ガバナー事務所までお送りください。なお、訃報につきましてはクラブ会長様に250字以内で追悼文を作成いただき、メール添付をお願いします。
- ※この月信のPDFデータを印刷して、各クラブの第一例会で会員の皆様に回覧いただきたくと共に会長の時間の中で要点を会員へお伝えいただければ幸いです。

編集後記

「ガバナー月信」11月号いかがだったでしょうか？

今月は「ロータリー財団月間」の特集として牛久保財団委員長に寄稿いただきました。財団に対する認識を深めていただければ幸いです。

今月号は、RLI、群馬県ロータリークラブ野球大会、地区大会記念ゴルフ大会、青少年交換秋の旅行、ガバナー補佐・委員長合同会議、ガバナー諮問委員会等の報告を掲載しました。

また、10月26～27日には地区の最大事業である地区大会が前橋の地で開催されました。皆様方のご協力により、本田ガバナーの方針であります「ロータリアンによるロータリアンのための地区大会」を盛大に行うことができました。大変ありがとうございました。

2013-14 年度ガバナー月信編集長 温井尚久（前橋RC）